

TOP MESSAGE

▶ 創立100周年を迎えて

当社は、1909年10月の創立後、戦災等の幾多の苦難を乗り越え、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。その結果、お客さま件数は、都市ガスで約42万件、グループ会社を通じてお届けしているLPG(液化石油ガス)も含めると合計で約60万件に達し、2009年10月には創立

100周年を迎えることができました。これはひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまなど多くの関係者の皆さまのひとかたならぬご支援の賜物であり、改めまして深く感謝申し上げます。

▶ 公益企業としての社会的責任

当社が果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、公益企業として、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えております。

CSR(企業の社会的責任)には、「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。当社は、経営的側面ではエ

ネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、社会的側面では社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を、環境的側面ではクリーンエネルギー・天然ガスの普及・拡大等の事業活動を推進しております。

▶ 新ビジョン「Action for Dream 2020」の実現に向けて

近年、環境性・供給安定性に優れた天然ガスに対する期待は、ますます高まっています。2010年6月に閣議決定された「エネルギー基本計画」において、天然ガスは、低炭素社会の早期実現に向けた重要なエネルギー源であり、産業部門への導入や、燃料電池の技術開発と普及促進等を通じて、天然ガスシフトを推進すべきと位置づけら

れています。

当社は、2009年10月に策定した新ビジョン「Action for Dream 2020」を受けた2010年度中期経営計画(2010～2012年度)を、「新ビジョン実行中期経営計画」と位置づけ、新ビジョン実現に向けた施策の実行に努めてまいります。

▶ 天然ガスシフトによる低炭素社会実現への貢献

低炭素社会の実現に向けた取り組みが地球規模で進められる中、当社が天然ガスシフトを通じて貢献できる方法は二つあると考えております。

一つ目は、他の化石燃料に比べ環境負荷の小さい天然ガスを普及・拡大させることです。これまで、当社供給エリア内において、環境負荷の大きい化石エネルギーを使用されているお客さまを中心に天然ガスをご提案してきましたが、今後は、供給エリア外も含めた皆さまへのご提案も一層展開してまいります。

二つ目は、エネルギー効率の高いガス機器を普及・拡

大させることです。これまで、高効率給湯器「エコジョーズ」やエネルギー利用効率の高い「ガスコージェネレーションシステム」の導入を通じて、お客さま先(ガス供給先)におけるCO₂削減に努めてまいりました。2009年度には、電気と熱を自宅で作くり出せる家庭用燃料電池システム「エネファーム」を販売開始いたしました。今後は、これらの機器の普及・拡大とともに、太陽光等の再生可能エネルギーと天然ガス等との最適な組み合わせをめざして推進してまいります。



▶ 地域好感度No.1グループをめざして

当社グループは、地域にエネルギーを供給するという、地域性・公益性の高い事業を行っております。

本来業務であるエネルギー供給では、ガスショッブを核としたエリア営業体制の強化や訪問活動の充実等により、お客さまとの接点機会を充実させ、お客さまの目線に立ったサービス活動を強化いたします。

また、地域に根差した当社グループが持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の確実な遂行に加え、地域の芸術、文化、教育、スポーツ分野等における社会貢献活動

や、生物多様性にも配慮した環境保全活動を、一層充実させていきたいと考えております。

コンプライアンスの取り組みでは、グループ全体におけるコンプライアンス意識の徹底とリスクマネジメント体制の強化や風通しの良い職場環境の構築により、公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。

このような取り組みにより、「地域好感度No.1グループ」として、今後もすべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

▶ グループの「心・技・体」の充実に向けて

私は、深山現会長より、当社第17代社長としてのバトンを受けました。当社グループの事業運営にあたっては、「HERE AND NOW」の精神を受け継ぐとともに、私が社長就任以降、社内で訴えている「心・技・体」の充実を大切にしたいと考えております。

「HERE AND NOW」とは、今という時は二度と訪れないので「この時」「この場」に全力で集中するという意味です。

「心・技・体」とは、当社経営理念である「地域社会から

信頼される会社」をめざす「心」、新ビジョン、それを受けた2010年度中期経営計画や事業戦略を策定・実行する「技」、グループ役職員の現場力である「体」を意味しております。いずれも基本となるのは、役職員の前向きで、明るい、元気なパワー（現場力）です。

当社グループの役職員は、これらの言葉を胸に業務に精励してまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、当社グループの取り組みをご理解賜るとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2010年9月

代表取締役 社長執行役員

田村興造